



国際ロータリー第2500地区第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club



旭川モーニングロータリークラブ会報

ホームページ <http://www.asahikawamrc.com/>

第1117例会 № 31

3月の月間テーマ 水と衛生月間

平成29年3月9日（木） AM7:30~8:30

本日の例会プログラム ゲストスピーチ

場所 アートホテルズ旭川 15F MINORI

会長の時間 ロータリーとライオンズについて 河崎 高麗男 会長



ロータリーとライオンズ(2)

私たちロータリアンの中でも、ロータリーは“ I serve ” 「個人奉仕」だ、とおっしゃる方が多いのです。これは、ライオンズのモットー“ We serve ”と比較したとき、ライオンズとは違うロータリーの「奉仕」の特徴を示す言葉としてロータリアンの間で多用されてきました。確かに“ We serve ”は、ライオンズの名前の由来とされるスローガンと一緒に掲げられているライオンズの唯一（？）の公式モットーです。ところが、“ I serve ”という言葉は、ロータリーの公式文献のどこを探しても出てきません。ライオンズからは、ロータリーは「社会奉仕活動を職域や個人で行うだけ」と見られているようですが、もちろんロータリーは団体での奉仕活動を否定していません。

ライオンズには「職業奉仕」の概念がない？とおっしゃる方もいます。確かにライオンズには「職業奉仕」という言葉はありませんが、職業倫理を謳った立派な「道徳綱領」があります。その「道徳綱領」がロータリーの文献の中に混じっていても気がつかないぐらい、読んでも区別が付きません。それでは、ロータリーとライオンズの一番の違いは何でしょうか。ライオンズクラブ国際協会のウェブサイトを見ると、「ライオンズの奉仕」という項目があります。この英語ページでは、“ Our Work ” アワー・ワークとなっていました。そして、その項目ページのタイトルが、“ More Volunteers in More Places than Any Other Service Club Organization ” 「他のどんな奉仕クラブ組織よりも多くの場所でより多くのボランティア活動を」と謳われているのです。ライオンズのモットー“ We serve ”の「サーブ」は動詞形でそして、ライオンズクラブでの奉仕活動は“ Activity ” 「活動」と呼ばれています。ライオンズの「奉仕」は、活動することに主眼があるようです。

これに対して、ロータリーは、初期ロータリーの頃からサービスのあり方、質を追求してきました。「職業奉仕委員会」ができる前（1927年以前）、この委員会は「ビジネス・メソッド・コミッティ」と呼ばれていました。つまり、正しいビジネスの方法を探究する委員会です。「サービス」はその委員会の中核概念で、正しいビジネスの中身がロータリーのいう「サービス」でした。そして、現代ロータリーでは、サービス理念は「社会に役立つ価値を提供すること」「世のため人のために尽くすこと」という最も広い意味で使われるようになっていきます。私たちロータリアンは、そうしたロータリーのサービス理念の研鑽を例会や委員会活動や奉仕活動の中で行うわけです。社会奉仕活動をするに主眼をおくライオンズに対して、一人ひとりの動機を大切に、それぞれの職業を通じてサービス・レベルと自己の人間性の向上を図るロータリー、という違いになるでしょうか。ライオンズの派手な広報を軽視したり、ロータリーの理念のほうが優れているとか自慢したりするのはではなく、「世界最大の社会奉仕団体」であるライオンズの活動には敬意を表しつつ、ロータリーは最もよく奉仕する者、最も多く報いられる、職業は社会に奉仕する機会であり、常に新しい夢を夢みて どうすれば他人のためになるか、まわりの環境に役立つかと、ロータリーで「奉仕の理想」の探求をこれからも自信を持って続けてゆくことが大事ではないでしょうか。



ゲストスピーチ 「私の美術散歩」～旭川の情景から～ 久木 佐知子 様

お早うございます。旭川西RCの久木佐知子でございます。今日はこのような素敵な場所でお話しさせていただく機会をいただきましてありがとうございます。市内は旭町でギャラリーシーズという小さな画廊を営んでおります。また、家業は「一久大福堂」という餅菓子屋でございまして、日頃より、旭川モーニングRCの皆さまには、また地域の方々にギャラリー、大福堂ともどもご贔負をいただき感謝申し上げます。

RCに入会をして14年目を迎えました。現在、地区のVTTの委員会の委員長を勤めさせていただいております。今回はタイの3330地区より、水とゴミ処理の専門家チームの受け入れをいたしました。昨年のモーニングRCと東北RC、東RCの3クラブ合同例会には、VTTのメンバーとともに参加させていただき、川崎会長はじめ、会員の皆さまに温かく迎えていただきました。お陰さまでVTT事業も無事終了し、今月号のガバナー月信に事業報告を掲載させていただいたところでございます。

ここでPRをさせていただきます。旭川西RCは今年創立60周年を迎えます。これもひとえにロータリアンの皆さまのおかげとお礼申し上げます。記念事業として、講演会と式典、懇親会を予定しておりますが、記念講演では、上川町出身で、日本女子スキージャンプ選手の高梨沙羅さんをお迎えして講演を計画しております。スキージャンプワールドカップで男女を通じ歴代最多の通算53勝。シーズン個人総合優勝4回という輝かしい記録をもち、世界の注目をあつめる高梨選手です。青少年に向けた講演ではございますが、是非、モーニングRCの皆さまにもご参加いただいて、記念講演、式典を盛り上げていただけたら幸いです。

日時は、4月16日、日曜日。午後1時から、旭川グランドホテルで予定しております。ご参加お待ちしております。

さて、本日のテーマは「私の美術散歩 ～旭川の情景から～」でございます。どのようなシーンも、眺める場所や時間、季節によって、様々な表情を見せてくれます。誰と一緒に眺めたのかといったことも重要なことで、人によっては目の前の景色もいつもより変わって見えることもあるかもしれません。皆さんはどのような場所を思い浮かべるでしょうか。

先だって、「旭川の冬の写真コンクール」という催しで受賞作品を見てまいりました。見慣れた光景もカメラのファインダーを通してみれば、こんな見え方があるのかと感心したり、素敵な場所や風景があること再発見しました。

その冬の写真コンクールから何枚かご覧いただきましょう。

最初の写真は「旭橋」です。すごく冷えた冬の朝、もちろん夜でも、雪がきゅっきゅっと音をたてて、寒さも音も、景色も五感を刺激しますが、そんな厳寒の旭橋の風景です。

次に、遠くに白い頂きの大雪山系。私の画廊では毎年、「大雪山の四季を描く」という展覧会を開催しています。旭川在住の画家に大雪山の自然をテーマに描いていただきますが、描く場所や描き方、表現の違いに、毎回、新しい発見がございます。とても人気があって15年以上続いている展覧会です。

こちらは、街なかのイルミネーション。今では国内あちこちでイルミネーションの点灯シーンを見ることができるので珍しくありませんが、白い雪の中に浮かび上がるさまざまな色の灯りは白い雪に反射して、夜空と足元を照らし、灯りの造形が楽しめます。

最後は氷彫刻です。今では旭川冬まつりと並んで冬の風物詩となった「氷彫刻世界大会」ですが、ライトアップされて美しくはかない造形は市民にも、観光客にも人気のようです。

他にも白い雪帽子をかぶった赤いナナカマドなど、旭川のシーンとして多くの方がイメージする光景がございました。

さて、氷彫刻がでましたが、彫刻といえば、旭川は「彫刻の街」とも言われますね。ここで、彫刻のある風景を2つご紹介いたします。

こちらの彫刻は、三木俊治「行列」という作品です。どこにあるかお分かりになるでしょうか。常磐公園の道立旭川美術館前にあります。第20回中原悌二郎賞優秀賞の受賞作品として設置されたもので、近づいてみると、半円形の鉄の上に無数の人の姿があります。冬にはこの半円形の鉄が半分ほど雪に埋まりますが、まるで白い海原を行く舟が無数の人を乗せた様に見えます。その姿を見た作者の三木俊治先生は、この作品を「宇宙船地球号」と呼んで、夏とはまったく異なる姿が観られることをとても喜んでいました。三木先生が観た雪の中の「行列」は、雪が斜め前方から吹きつけていたためにあたかも作品が進んでいるように思えたそうです。

黒川晃彦「サキソフォン吹きと猫」。2002年の買物公園リニューアル工事で設置されましたが、設置後しばらくすると冬にマフラーや帽子を身に着けるようになりました。誰が着せているのか定かではありませんが、今では冬の装いがすっかり街の景観の一つとなっていて、作者の黒川晃彦先生も作品が市民に親しまれていることを喜んでいらっしゃいます。

話は変わりますが、旭川でも外国人観光客の姿を多く見かけるようになりましたね。ある旅行関係の方によると、外国人観光客が必ず行くところと、1回で十分というところ、10回、20回と訪ねる場所があるそうです。

必ず行くところのひとつは「東京」だそうです。東京は玄関口として、ここから多くの外国人が入って来るからです。いわゆる観光名所には1回行けば十分というところがあるそうですが、平均して10回近くは来るといわれているのが北海道です。さっぽろ、函館などはリピーターが多いですが、最近の外国人は地方の魅力を求めていると聞きます。地方観光にチャンス到来といったところでしょうか、

昨年の4月から9月までの観光客の入込数について、市の経済観光部の発表した数字です。外国人宿泊延数は、対前年同期比で121.9%の10万3187泊と過去2番目に多い平成26年度の通年実績を上期だけで上回りました。

旭川空港を利用する中国、台湾が上位をしめますが、新千歳を利用してこれまで、道央を中心に周遊していた外国人観光客が旭川市を含む道北圏にも周遊するようになったそうです。

旭川市でも外国人向けの冬のおすすめスポットを紹介しています。ニセコは有名ですが、旭川の雪質は世界最高で、スウェーデンやオーストラリア、フランスなど、欧米からもカムイスキーリンクスに訪れているといえます。そんな観光客にお勧めなのが、カムイスキーリンクスのゴンドラで山頂からの景色を眺める、冬の雪原散歩として北彩都ガーデンを散策する、スノーシューをはいて見本林を歩く、また、早朝に上川神社まで歩く（かつて離宮予定地だったことなどを話す）、真っ白い雪の上に寝転んで見るだけでも楽しいなどとすすめているそうです。

確かにタイからのVTTメンバーも雪をみるだけで感動し、喜んでいましたから、今後は、外国人が楽しめる体験型メニューや、魅力のあるものをロータリークラブが考えて、地域の活性化に役立てたいところです。

さて、この彫刻は美唄市出身で、イタリアで活躍している安田侃さんの作品です。旭川駅にありますね。美唄市には安田さんの彫刻公園「アルテピアッツァ美唄」がごさいます。これが夏のアルテピアッツァです。冬になるとこのようになります。今、観光客に人気のスポットなのです。海外からも来ています。

私はかねてから彫刻もひとつの観光資源になるのではないかと考えています。旭川彫刻フェスタという事業では、忠別橋の河川敷から北彩都エリアを含め、神楽岡公園までをぐるりと彫刻を観ながら散策できる環境づくりを進めています。

全国には野外彫刻の設置に力を入れている自治体がたくさんあります。旭川以上の作品数を誇る街も珍しくありません。しかし、その多くは関東以南の恒常的な積雪のない地域にあり、数十cmもの雪に埋もれる街は、旭川と札幌に限られます。そこで、札幌の芸術の森の野外美術館では、雪に埋もれた彫刻の姿を、かんじきを履いて見学させています。夏とは異なる姿はたいへん興味深いものです。

旭川の雪の帽子をかぶった街角の彫刻像や、雪の中から一部だけをのぞかせている公園の作品など、雪のない地域の方に喜んでもらえるのではないかと思います。氷彫刻世界大会などと併せてPRすることで、冬の彫刻の姿も観光資源となる可能性を持っているかもしれません。

アートは脳にとって最高の刺激です。北海道は景色も良くて、食べ物もおいしい。それだけでも観光の目玉になりますが、新たなコースや体験型メニューも必要です。

例えば札幌市のイサム・ノグチの「モエレ沼公園」をはじめ、美唄市の安田侃さんの「アルテピアッツァ美唄」と旭川の彫刻美術館や中原悌二郎賞ゆかりの野外彫刻などを巡る広域ルートも新たな観光ルートのひとつとして、国内外の方々に、旭川の風景と共に楽しんでいただけないかと思っております。

最後に、毎年、ギャラリーでは美術ツアーを開催しております。昨年は、現代アートの聖地として、世界から注目を集める「瀬戸内国際芸術祭」が開かれた瀬戸内の島を訪ねました。このツアーには桑原さんにご参加いただきました。

また、ギャラリーで茶会を催した際には、佐々木さんにお茶をたていただきました。ディー・ドレープの林さんには、会場のディスプレイをお願いして昨年の25周年の記念展を盛り上げていただきました。

他にも、モーニングRCに皆さまには大変お世話になっております。言葉たありませんが、本日このように話をさせていただく機会をくださった河崎会長はじめ、MRCの皆さまに感謝いたします。ご清聴ありがとうございました。

第1117回例会 会務報告 井上 雄樹 副幹事



- 1) 国際ロータリー第2500地区旭川西ロータリークラブより、創立60周年記念式典の案内状 收受。
日時 4月16日(日) 記念講演 13:00~ 講師 高梨 沙羅 氏
“ワールドカップスキージャンプ女子で大活躍”
記念式典 15:15~ 祝賀会 17:00~
会場 旭川グランドホテル 登録料 12,000円
*本日、皆様へご案内をさせていただきます。
- 2) 国際ロータリー第2500地区釧路ベイロータリークラブより、創立20周年記念式典の案内状 收受。
日時 5月13日(土) 記念式典 14:00~ 記念講演 15:30~
祝賀会 17:30~
会場 ANAクラウンプラザホテル釧路 登録料 10,000円
- 3) 一般財団法人 比国育英会バギオ基金より、バギオだよりVOL.59 收受。
- 4) 社会福祉法人旭川いのちの電話より、広報誌№128並びに北海道新聞・一面広告PR紙面協賛の礼状・紙面 收受。

委員会報告

- 社会奉仕委員会 武田 昭宏 委員長** 職業分類について、変更がありますのでお知らせいたします。
- 広報雑誌委員会 坂本 信一 会員** 愛ロータリーのご紹介をします(別紙参照)
- 会員研修委員会 笹川 和廣 委員長** 16日の例会は夜間でオリエンテーションがありますので、ロータリーの基礎、本をお忘れなくお持ち下さい。
- 会員組織委員会 高見 一典 委員長** CLPの資料をご覧ください



ニコニコボックス ご芳志者名簿 親睦委員会 木村 和哉委員長



旭川西ロータリークラブ ビジター 久木 佐知子会員

例会にお招き頂きまして素敵な場所でスピーチの機会を頂きましてありがとうございます。

今井 孔太 会員

昨日は、ロータリアンの方々にも来て頂き、教室、勉強会は大成功でした。ありがとうございます。

石川 千賀男 会員 ゲストスピーチ久木さん、早朝よりありがとうございました。

小柳 裕子 会員 目が覚めたら7時でした。久木さん、今日はありがとうございます。



モーニングRC 出席報告 井上 雄樹 副幹事

* 本日の出席 第1117回例会 総員 27名 3月9日 出席 20名 出席率 74.07%

* 修正出席 第1115回例会 総員 27名 2月16日 修正出席 22名
修正出席率 81.48%

* 修正出席 第1116回例会 総員 27名 2月23日 修正出席 24名
修正出席率 88.89%

* ゲスト 久木 佐知子 (旭川西RC) * ビジター 黒川 志保 (旭川西RC)

* メークアップ 3月2日 井上 雄樹・宮永 憲一(旭川東北RC)
3月4日 今井 孔太 (札幌手稲RC)
3月6日 今井 孔太 (札幌南RC)

